

泉佐野市デジタル防災行政無線システムの運用を開始

問合せ先 市民協働課

災害の発生またはその恐れがある場合、市は災害の規模や位置、現場の状況を把握し、いち早く正確な災害情報を地域住民のみなさんに伝達するため、防災行政無線システムの運用を3月より開始します。このシステムは、従来の「音声」の伝達とあわせて、多様な情報伝達メディア（登録制メール配信、ツイッター、エリア・緊急速報メール、市ホームページ、㈱ジェイコムウエストリンクウ局が提供する「防災情報サービス」）にも情報配信を行うことで、災害情報配信の一元化と迅速化を図り、音声だけでは把握しにくい情報の伝達も可能としています。

※詳しくは、ホームページ (http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/jichi/menu/bou/osirase/doho_musen.html) をご覧ください。



◆放送を聞き逃した人へ…

放送を聞き逃した場合や放送内容を確認したい場合は、下記へ電話をかけると放送内容を確認できます。

◆自動電話案内サービス

☎479-3710

※放送内容は、過去24時間10件分を確認できます。通話料は、利用者負担となります。チャイムは確認できません。



夕方に音楽の定時放送を行います

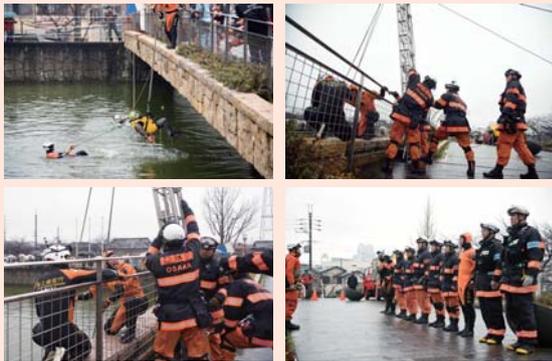
子ども達の帰宅を促すことなどを目的に、午後5時（夏は午後6時）に音楽放送を行います。

消防サイレンが鳴ります

消防団がある地域では、火災などの際、地域の消防団員を招集するとともに、地域の人に注意・警戒していただくための消防サイレンが鳴ります。また、次のテレホンサービスで、火災の情報を確認することができます。

火災に関するテレホンサービス ☎463-0009

海上保安庁 関空海上保安航空基地と泉州南広域消防本部の合同による、実践さながらの迫力ある水難救助訓練が行われました。



海上自衛隊舞鶴音楽隊によるコンサートが行われ、本市出身で海上自衛隊横須賀音楽隊の歌姫、中川麻梨子海士長の歌声が会場に響き渡り、大きな感動に包まれていました。



会場にはミニ消防車や消防団・自衛隊車両などが展示され、消防服の体験コーナーでは家族連れが楽しんでいました。



体感型防災アトラクション「ライフライン」では、参加者は脱出ゲームで災害時の状況を体感することで、災害時における「自助・共助」の重要性を学んでいました。



泉佐野市防災フェスタを開催しました

市民一人一人の防災力の向上をめざし、2月5日(日)にエブノ泉の森ホールにおいて防災フェスタを開催しました。

問合せ先 市民協働課